

論文審査結果の要旨

報告番号	修 第 1349 号	氏 名	吉 田 俊 裕
論文審査担当者	主査	佐 藤 満 教 授	
	副査	鈴 木 憲 雄 教 授	
	副査	加 茂 野 有 徳 准 教 授	
論文題名：3次元肺モデルを用いた区域気管支の分岐角度の計測			
<p>審査対象論文は、呼吸ケアで重要視される気道クリアランス法のうち、臨床の現場で用いられることが多い体位排痰法に関して、肺区域によっては設定すべき体位の根拠が不十分であり、十分な効果を上げられていないという背景から、区域気管支の分岐角度を実測し、定量的な根拠に基づいた推奨体位を提示するための研究である。区域気管支分岐角度を実測するために、これまで報告では見当たらなかった CT データから再構成された 3次元の肺モデルを用いた新しい手法を援用しており、研究の学術的な位置づけや新規性も含めて独創性を十分に有した研究であると認められた。</p> <p>3次元肺モデルから肺区域気管支の角度を定量化する手法は、先行研究がないことから、角度を取得するための独自の方法論を考案しているが、今後の類似研究の引用に耐えるだけの妥当性があると判断されるレベルにあった。</p> <p>また、少ないながらも旧来の方法を用いて報告された先行研究の引用を適宜交えながら、これまで報告では十分確認されていなかった新たな事実についても適切に考察できていた。具体的には、研究対象の気管支角度は屍体から得られた値よりも大きな値であり、この角度を根拠とした排痰体位は頭位を極端に下方に置く必要があるため、急性期の患者に実施するには困難である示唆された。それを踏まえて臨床で実施するための指針にも言及できていた。さらに、上記の内容を適切な提示資料を基に適切に口述して発表できていた。研究の限界に関しても統計的処理方法や結果提示方法の質疑に対して過不足なく応答できしており、研究成果の発表能力も基準に達していると判定された。</p> <p>以上より、本論文は本学大学院学位論文(修士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載)